

### 2014年3月期 第3四半期 連結決算ハイライト

#### ■前年同期比増収増益。

売上高	8,188 億円	10.5%	増収
営業利益	138 億円	3.0%	増益
経常利益	142 億円	21.9%	増益
当期純利益	85 億円	17.0%	増益

#### 資産・負債及び純資産の状況

(単位:億円)	2013/3末	2013/12末	2013/3末比	
			増減	増減率
総資産	3,992	4,196	205	5.1%
グロス有利子負債	1,469	1,426	△ 43	-2.9%
ネット有利子負債	864	769	△ 95	-11.0%
株主資本	795	874	79	9.9%
その他の包括利益累計額	△ 250	△ 191	59	-
少数株主持分	214	237	23	10.6%
純資産合計	759	919	160	21.1%
自己資本(注1)	545	683	138	25.2%
自己資本比率(注2)	13.7%	16.3%	2.6pt	良化
ネットDER(注3)	1.6倍	1.1倍	0.5pt	良化

【有利子負債】  
グロス有利子負債は43億円減少。  
ネット有利子負債は95億円減少。

【純資産】  
四半期純利益による利益剰余金積み上げ等により、160億円増加。  
純資産から少数株主持分を除いた自己資本は、138億円増加。

上記の結果、自己資本比率は16.3%、ネットDERは1.1倍に改善。

(注1)自己資本=純資産-少数株主持分 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

#### 損益の状況

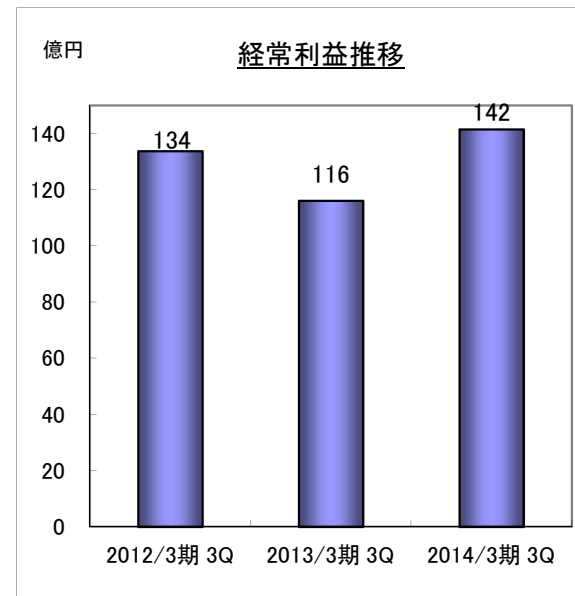
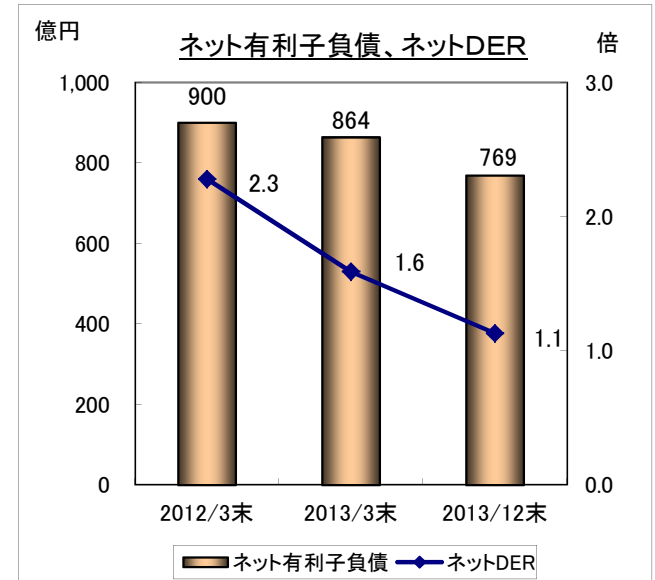
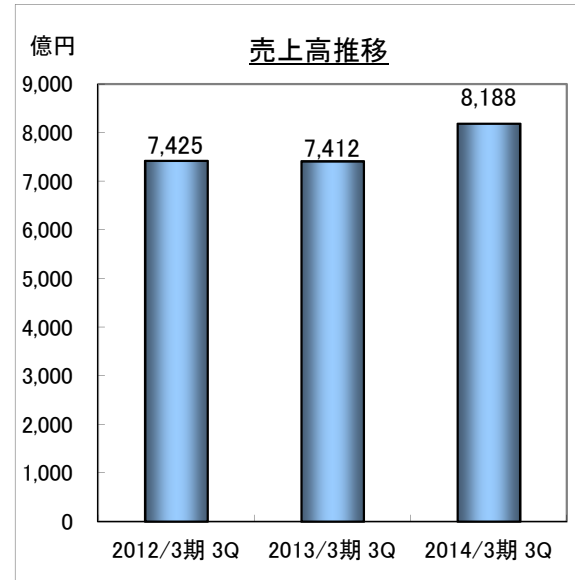
(単位:億円)	2013/3期 第3四半期累計実績	2014/3期 第3四半期累計実績	前年同期比		2014/3期 通期	
			増減額	増減率	11/1公表 修正見直し	進捗率
売上高	7,412	8,188	776	10.5%	11,000	74.4%
売上総利益	586	627	41	7.1%	-	-
販売費・一般管理費	452	489	37	8.3%	-	-
営業利益	134	138	4	3.0%	200	68.9%
受取配当金	7	8	0	-	-	-
利息収支	△ 23	△ 22	1	-	-	-
持分法損益	0	3	3	-	-	-
為替差損益	1	19	18	-	-	-
その他	△ 4	△ 4	△ 0	-	-	-
営業外収支	△ 18	4	21	-	-	-
経常利益	116	142	25	21.9%	190	74.5%
特別利益	26	23	△ 3	-	-	-
特別損失	△ 23	△ 24	△ 2	-	-	-
税引前当期純利益	119	141	21	17.8%	-	-
法人税等及び少数株主利益	△ 47	△ 56	△ 9	-	-	-
当期純利益	73	85	12	17.0%	90	94.4%

【売上高】  
鉄鋼・素材・プラントセグメントを中心に全セグメントで増収。

【営業利益】  
電子・デバイス、食料セグメントで減益なるも、鉄鋼・素材・プラントで増益となり、増益。

【経常利益】  
営業利益の増益に加え、為替差益・持分法による投資利益等、営業外収支の良化もあり増益。

【当期純利益】  
経常利益の良化に伴い増益。



#### セグメント情報

(単位:億円)	売上高(外部売上高)			営業利益		
	2013/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	前年同期比 増減	2013/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	前年同期比 増減
	電子・デバイス	1,706	1,940	234	55	45
食料	2,149	2,361	212	30	21	△ 9
鉄鋼・素材・プラント	3,141	3,429	288	33	56	23
車両・航空	342	416	74	12	12	0
報告セグメント合計	7,338	8,146	807	131	135	4
その他(含む調整額)	74	43	△ 31	3	3	△ 0
総合計	7,412	8,188	776	134	138	4

【電子・デバイス】 増収減益  
電子部品・材料事業は、輸出取引を中心に堅調に推移。システムインテグレーション事業は、前期の日本オフィス・システム(株)の連結子会社化と企業の積極的なインフラ設備投資を受け堅調。モバイルソリューション事業は人気機種発売前の買い控えや商品供給不足の影響もあり、営業利益が減少。

【食料】 増収減益  
畜産事業は市況回復により順調に推移。食糧事業は安定的調達の実現や取扱高増加により堅調に推移。食品事業は円安の影響を販売価格へ転嫁するのに時間を要し、営業利益が減少。

【鉄鋼・素材・プラント】 増収増益  
鉄鋼事業は、欧米向け自動車用特殊鋼取引や、前期買収した北米油井管加工事業が堅調に推移。エネルギー事業は、重油販売が引続き好調に推移。プラント事業は、工作機械・産業機械関連取引が低調。

【車両・航空】 増収利益横ばい  
北米向けの二輪車・四輪車用部品、国内の航空機部品取引は堅調に推移。アジア向け建設機械関連等の取引は低調。

\* 本資料に記載されている業績予想ならびに将来に関する記述は、当社が発表日現在入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としたものであり、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる可能性があることにご留意ください。  
\* 記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。